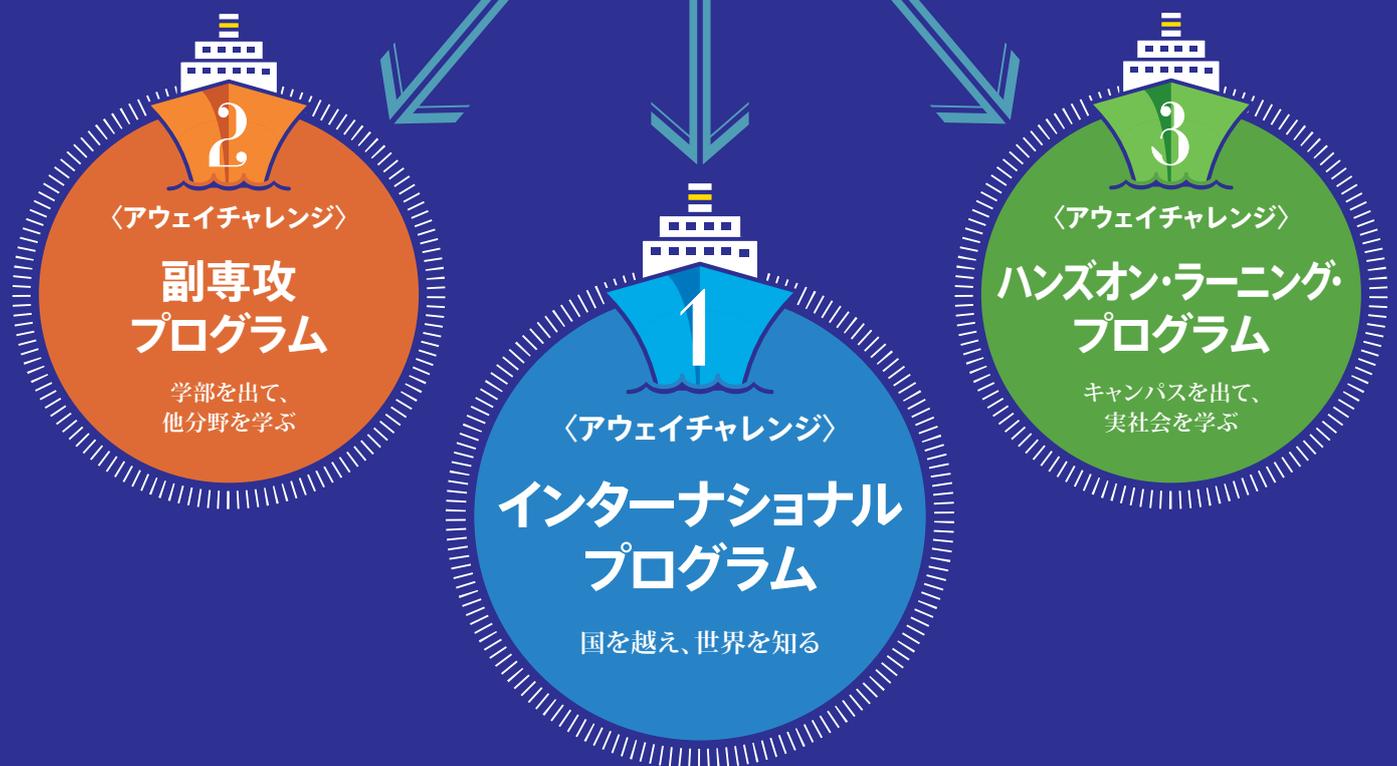


「ダブルチャレンジ」 プログラムガイド2019

各学部・専攻での学びに加え、
新たな分野、世界等での学びに挑む。

学部・専攻での学び
〈ホームチャレンジ〉



グローバル人材に必要な力を育む「ダブルチャレンジ制度」

3つのプログラム  に含まれる

1科目もしくは複数の科目を選択し取り組むことを推奨します。



国際ナショナルプログラム

1 国を越え、世界を知る

関西学院大学には協定大学への留学はもとより、海外の学生との交流セミナーや国際ボランティアなど、海外で学ぶことのできる機会がたくさんあります。また、融合プログラムに参加して海外の学生と共に英語で授業を受けることも可能です。ぜひこれらの機会を積極的に活用してください。プログラムの詳細については国際教育・協力センター発行の「国際教育・協力プログラム募集要項」およびホームページを確認してみてください！

海外の大学で学びたい〈留学プログラム〉

全学科目

国際教育・協力センター (CIEC)

- 交換留学、認定留学 [1学期間～1年間]
- 長期留学 (学部科目履修型) [1年間]
- 英語中期留学 [1学期間]
- フランス語中期留学 [1学期間]
- スペイン語中期留学 [1学期間]
- 外国語研修 (英語、中国語、朝鮮語、スペイン語) [約3週間～6週間]
- CCC Cross-Cultural Workshop [2週間]

言語教育研究センター

- フランス語海外研修 [4週間]
- ドイツ語海外研修 [4週間]
- 海外学習活動 (ドイツ) [約1ヶ月間]

学部独自科目

社会学部、経済学部、商学部、国際学部

- ダブルディグリー留学 [1年～2.5年]

神学部

- Mission in Dialogue A [約1週間]

文学部

- ドイツ語中期留学 [4ヶ月半]

法学部

- 中国人民大学法学院交換留学プログラム [1学期間～1年間]
- エディンバラ大学春季法律英語研修 [約3週間]

商学部

- ビジネスに活かせる海外短期研修プログラム [約1週間～約1ヶ月間]

理工学部

- 海外理工学プログラムB (English for Science and Technology) [約1週間]
- 海外理工学プログラムB (Python Program) [約3週間]

人間福祉学部

- 社会起業英語中期留学 [1学期間]

国際学部

- 英語中期留学 [1学期間]
- 中国語中期留学 [1学期間]
- 朝鮮語中期留学 [1学期間]

全学科目

国際教育・協力センター (CIEC)

- 国連ユースボランティア [5ヶ月間]
- 国際社会貢献活動 [5ヶ月間]
- 国連セミナー [10日間]
- 中期海外インターンシップ [約3ヶ月間]
- 短期海外インターンシップ (アメリカ) [約1ヶ月間]
- 短期海外インターンシップ (ベトナム) [約1ヶ月間]
- 海外フィールドワーク [約1週間]
- CCC Field Study in Canadian Business [約2週間]
- インドネシア交流セミナーA [約2週間]
- 海外異文化体験セミナー [約1週間]

国連・外交統括センター

- 国連・外交フィールドワーク [約10日間]

理工学部

- 海外理工学プログラムA (企業体感プログラム in シリコンバレー) [約1週間]
- 海外理工学プログラムB (Coral & Forest Study in Tropical Area) [約10日間]
- 海外理工学プログラムB (Introduction to Scientific Diving) [約10日間]
- 海外理工学プログラムB (Geoscience Program) [約1週間]

学部独自科目

文学部

- 東アジア文化交流セミナーB [5日間]
- 異文化理解 (フランス) 2 [約1週間]

社会学部

- 比較社会演習A [約1週間]

法学部

- 法学・政治学グローバル演習A・B・C・D [約1～3週間]

経済学部

- 海外学習活動 (ベトナムインターンシップ) [約1ヶ月間]
- 海外学習活動 (吉林大学) [1週間]
- 海外学習活動 (ウジ大学) [1週間]
- 海外学習活動 (ドイツインターンシップ) [約1ヶ月間]
- 海外学習活動 (アジア地域の観光開発) [約1ヶ月間]
- 海外学習活動 (アフリカ研究) [約1ヶ月間]

総合政策学部

- ソノマ州立大学英語研修& フィールドワーク [約1ヶ月間]
- 中国上海・蘇州フィールドワーク [1週間]
- 台湾フィールドワーク [約1週間]
- フィリピンフィールドワーク [約10日間]

人間福祉学部

- 社会起業フィールドワーク (海外) [約2週間]
- 社会起業インターンシップ (国内・海外) [6週間]
- 人間福祉グローバル演習A～H [約1～2週間]
- 福祉社会フィールドワーク [約1週間]
- 人間科学フィールドワーク [約2週間]

教育学部

- 海外ボランティア実習 [約2週間]

国際学部

- EUフィールド・スタディー [約2週間]
- Introduction to Business in Asia: Innovation, Leadership, and Strategy [約2週間]

科目の履修等の注意事項

- 各プログラムに含まれる科目によっては申込時期、参加条件 (TOEFL/TOEIC等のスコアや参加するにあたって事前に履修すべき科目等) が異なりますので、科目提供部署や各種ガイドブック等で詳細を確認するようにしてください。
- 記載された科目・プログラムは2019年4月現在のもので、今後、順次拡充していく予定です。

プログラムの見方

「全学科目」は全学部生が履修可能な科目です。「学部独自科目」は原則、提供学部の所属学生が履修可能な科目です。また、その中でも特定の学部の学生の履修可能な科目も含まれていますので、履修にあたっては各学部事務室等で確認するようにしてください。

海外の学生と共に学びたい〈融合プログラム〉

※融合プログラムはキャンパス内で留学生と学びます。

全学科目

国際教育・協力センター (CIEC)

- CCC Global Internship in Japan
- CCC Global Career Seminar in Japan
- インドネシア交流セミナーB
- 総合日本学習科目 (KGU Summer School 科目含む)

学部独自科目

神学部

- Theology in Dialogue
- Mission in Dialogue B

文学部

- 東アジア文化交流セミナーA

社会学部

- 比較社会演習B

経済学部

- 海外学習活動 (日中共同学術フォーラム)

総合政策学部

- 日本学総論

人間福祉学部

- Human Welfare and International Development
- グローバル化社会と福祉

国際学部

- Introduction to ASEAN: Society, Economy, and Politics A

PICK UP! 参加学生の声

交換留学

専門的知識を深め 国際的な人的ネットワークを築く

本学に在籍しながら協定大学へ1学期間または1年間留学できます。世界約33か国/地域の約170校の協定大学が派遣先となります。海外の大学で学問的知識を深め、留学生活で異なる文化や価値観、社会や人々への理解を深めます。

Brotherhood is Forever (ネブラスカ・ウェスレアン大学留学)

国際学部 徳山貴哉さん

はじめはアジア人がマイノリティである環境下で、言語と文化の壁を感じるばかり。しかし、だからこそ自分から相手との距離をつめ、常に前向きな姿勢で楽しむように意識して過ごしました。その結果、メンバー全員の承認が必要な学生団体であるPhi Kappa Tauに所属でき、留学生で初めてその年の最優秀メンバー賞を受賞しました。こうしてみんなと人種と文化を超えた本当の仲間になれた経験は、私の人生において何よりの財産です。



外国語研修

授業がない期間を利用して 語学力アップ

夏休み (8-9月)、春休み (2-3月) の授業がない時期を利用して、海外の協定校で英語・中国語・朝鮮語・スペイン語を3～6週間で集中的に学習する語学研修プログラムです。現地の人々とのふれあいが語学研修の醍醐味です。

自分を変えてくれた留学 (クイーンズランド大学 英語研修参加)

法学部 和田真由子さん

苦手なスピーキング能力を向上させるため、オーストラリアの短期外国語研修に参加しました。平日は授業とさまざまなアクティビティに取り組み、休日は友達やホストファミリーとともに楽しい日々を過ごしました。この研修を通して何事にも積極的に自ら行動する姿勢が大切だと学びました。留学に興味を持っている人、自分を変えたいと思う人はぜひ参加してください。きっと一生忘れられない素晴らしい経験が待っています。



KGU Summer School

国内にいながら留学体験 授業の中で国際交流

休暇期間や、通常の授業期間の中で海外の大学生とともに学び、相互理解が深まる授業を多数開講。言語や文化の異なる学生と授業の中で協働することで、異文化理解、視野の拡大、異文化コミュニケーション力を高めます。

学内で本物の留学体験 (総合日本学習科目「Japanese Production System」履修)

社会学部 藤田惇志さん

私はこの科目を交換留学から帰ってきた直後に受講しました。受講生は留学生がほとんどで、先生までアメリカの大学からきている教授で、まるでまた留学しているかのような気分でした。気軽に海外留学をしているような環境で授業を受けられるので、留学に行きたいと思っている学生、もしくは留学から帰ってきたけどまだまだ英語で勉強と思っている学生にお勧めです。フィールドトリップもあって友達も作りやすいですよ！





副専攻プログラム

学部を出て、他分野を学ぶ

他学部、言語教育研究センター、国連・外交統括センターが提供する一定の体系づけられたプログラムを履修することにより、自学部の学習に軸足を置きながら、他の異なる学問分野をまとまった形で学ぶことができます。また、より専門的な学びを深めるための学部独自プログラムも提供しています。 ※理工学部・総合政策学部の学生は全学プログラムの内、複数分野専攻制特別プログラム(国連・外交プログラム)のみ履修可能です。

全学プログラム

国際教育・協力センター(CIEC)

- 複数分野専攻制特別プログラム(CCS)
- ※2016年度以降入学生は募集停止

各学部、言語教育研究センター

- 複数分野専攻制プログラム

国連・外交統括センター

- 複数分野専攻制特別プログラム(国連・外交プログラム)

学部独自プログラム

文学部

- 文学部内副専攻プログラム

社会学部

- 社会調査士
- 認定心理士(心理調査)

総合政策学部

- 建築士プログラム
- 社会調査士
- グローバルキャリアプログラム(GCaP)



ハンズオン・ラーニング・プログラム

キャンパスを出て、実社会を学ぶ

「キャンパスを出て、実社会を学ぶ」をキーコンセプトに、企業や地域、行政、NPO・NGO等と連携し、主に①課題解決・企画提案型プロジェクト、②インターンシップ、③フィールドワークを中心とした実践型の体験学習プログラムを提供しています。全学科目では、プログラムを通して、ハンズオン・ラーニングセンターが「知的基礎体力」と定義する「社会の課題に自ら向き合う学修姿勢・思考力・行動力」を修得することを目指します。また、各学部に置いても独自のプログラムを開講していますので、目的に合わせて履修してください。

全学科目

ハンズオン・ラーニングセンター

- インターンシップ実習
- ハンズオン・インターンシップ実習(岩手・福井・石川・岡山・大阪・兵庫)
- キャリアゼミA・B・C
- 霞が関セミナー
- ライフデザインと仕事A(日本企業編)・B(外資系企業編)
- ライフ・キャリア実践演習
- ライフ・キャリア発展演習
- ライフ・キャリア リーダーシップ実習
- 平和学特別演習「ヒロシマ」
- 社会探究リサーチ・ベーシックA(定量編)・B(定性編)
- 社会探究実習I・II(広島・江田島平和FW)
- 社会探究実習I・II(瀬戸内海・豊島環境FW)
- 社会探究実践演習I・II(篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW)
- 社会探究実践演習I・II(朝来・竹田城下町活性化PJ)
- PBL特別演習001(福島から原発を考える)
- PBL特別演習002(JETRO×産業研究所連携講座)
- PBL特別演習004(富士ゼロックス兵庫(株)志PJ)
- PBL特別演習005(アントレプレナー養成講座)
- PBL特別演習006(公認会計士と挑む企業のビジネス課題)
- PBL特別演習007(阪急阪神ホールディングス(株)社会課題解決PJ)

学部独自科目

神学部

- キリスト教社会実習
- キリスト教と社会A・B
- 教会と礼拝体験

文学部

- 美学芸術学基礎実習
- 地理学地域文化学実習A・B
- エクスカーションI・II
- 臨床心理学実習A(心理実習)
- 日本文学特殊講義5(神戸文学館)

社会学部

- 社会調査実習

法学部

- 国内フィールドワーク演習A・B・C・D
- 地域インターンシップ実習
- 議員インターンシップ実習

経済学部

- キャリアワークショップ
- 地域インターンシップ実習
- 国内フィールドワーク演習A・B・C・D
- 国内フィールドワーク実習

商学部

- ビジネスプロジェクト

理工学部

- 臨海実験
- 地球環境科学実験

総合政策学部

- 里山実習
- 総合政策演習(フィールドに出よう!五感で学ぶ、地域の環境)
- 都市政策演習(柏原まちづくりプロジェクト)
- 都市政策演習(ゆるやかなつながりプロジェクト)
- 都市政策演習(都市と建築空間フィールドスタディ)
- 都市政策演習(朝来市竹田城跡に頼らない観光まちづくり)
- 都市財政論(西脇市都市経営フィールドワーク)
- 総合政策トピックスA
- 環境測定実習
- 国際発展政策課題研究B(グローバル化する社会でのサバイバル戦略を考える)
- メディア制作演習(表現)
- メディア制作演習(社会情報デザイン)
- 総合政策トピックスB(IT企業との連携による創造的発想に基づくプロジェクト演習)
- 総合政策演習(パークマネジメント)

人間福祉学部

- ソーシャルワーク実習
- 精神保健福祉援助実習
- 社会起業フィールドワーク(国内)
- 社会起業インターンシップ(国内・海外)
- ソーシャルワーク・インターンシップ
- 医療ソーシャルワーク・インターンシップ
- 社会起業アドバンスト・インターンシップ
- 学校ソーシャルワーク実習
- 福祉社会フィールドワーク
- 人間科学フィールドワーク
- 社会起業プラクティス
- 野外教育指導実習I
- 人間科学フィールドワーク入門
- ソーシャルワーク実習入門
- 日本のシニアビジネスの課題と展望
- 野外教育実習A
- 野外教育実習B
- 野外教育指導実習II

教育学部

- 実地教育研究(実習)
- 地域社会論
- 教育課題探究実習

国際学部

- ベンチャービジネス創成

PICK UP! 参加学生の声

社会探究実習I・II(篠山・今田コミュニティ・ガバナンス)

人を知り 人の業に触れる

地域社会の課題を解決するためには、「地域」を理解しなければなりません。「丹波焼」や黒豆など、人の手によって育まれた製品の秘密を探ります。

社会に出ても活かせる 経験や能力を得ました

社会学部 白沢朋巳さん

私は、今田町(篠山市)で、活躍中の職人やボランティアの方々にインタビューを行い、伝統工芸品「丹波焼」の存続について考えました。授業では地域再生の問題についても学び、仲間と協力して、地元の方にも読んで頂けるよう、パンフレットをつくりあげました。授業では聞き取りをしながら頭の中で質問を考えることを何度も行いました。こうして鍛えられたヒアリングの能力は、さまざまな方と交流する機会など、多くの場面で役立っています。



社会探究実習I・II(朝来・竹田城下町活性化PJ)

「現地・現物・現実」で考え行動し、学ぶ

観光による地域活性化とは? 現地でこそ理解する、関われる現実の課題。雲海で有名な竹田城跡をフィールドに主体的な思考・行動・学ぶ姿勢を鍛えます。

「地域のため」が自分の成長と学びに繋がる

社会学部 飯田なおさん

地域が抱える問題は何か、自分にできる事は何か、出来るようになるには何をすればいいか。竹田城下町活性化PJで考え尽くし、調べ尽くし、継続して関わる重要性を学びました。また、この授業は各学部での学びが活かされる場でもあります。実社会に出たことで地域の社会人から刺激を受け、主体的に社会に貢献するために自分がどんな力をつけたいのかが明確になり、現実的で論理的な解決策を考え行動する力を伸ばすことができました。



キャリアゼミA

社会で「生き抜く力」を学ぶ

社会人OBOGとの交流やビジネスプラン作成を通して、「生き抜く力」を学び、卒業後のキャリアを見据え、学生生活をいかに過ごすかを考えます。

学部を越えた仲間と共に キャリアを考える

経済学部 樋渡大洋さん

キャリアゼミAを通して「対話」を行う重要性を学びました。親しい間柄の中で成立する「会話」とは違い、「対話」は立場や主張が異なる相手に対しても行うことが求められます。OBOGとの座談会やビジネスプラン作成の過程で多くの対話を重ねる機会があり、自分のキャリア形成において必要不可欠であると感じました。また、この授業はさまざまな学部の学生がいるので、学部の垣根を越えた繋がりを作ることが出来て、とても刺激的でした。



PBL特別演習006(公認会計士と挑む企業のビジネス課題)

企業会計の知識を活かして ビジネス課題を解決

現役の公認会計士から企業会計に関する知識を学び、実在する企業の経営課題についてチームで考え、課題解決に向けたビジネスプランを提案します。

公認会計士の魅力に触れ 本気で目指す転機に!

国際学部 阿部一葵さん

主に簿記・会計の基礎知識の習得とそれを活かしたビジネスプランの作成に取り組みました。一番のお薦めポイントは、普段なかなか出会えない公認会計士の方々が協力して下さることです。会計の専門家のアドバイスは私に新しい視点を生み出してくれました。公認会計士の仕事内容について理解も深まり、それまで勝手に抱いていた堅苦しいイメージが覆され、魅力溢れる仕事に感じ、自分が公認会計士を本気でめざす転機となりました。



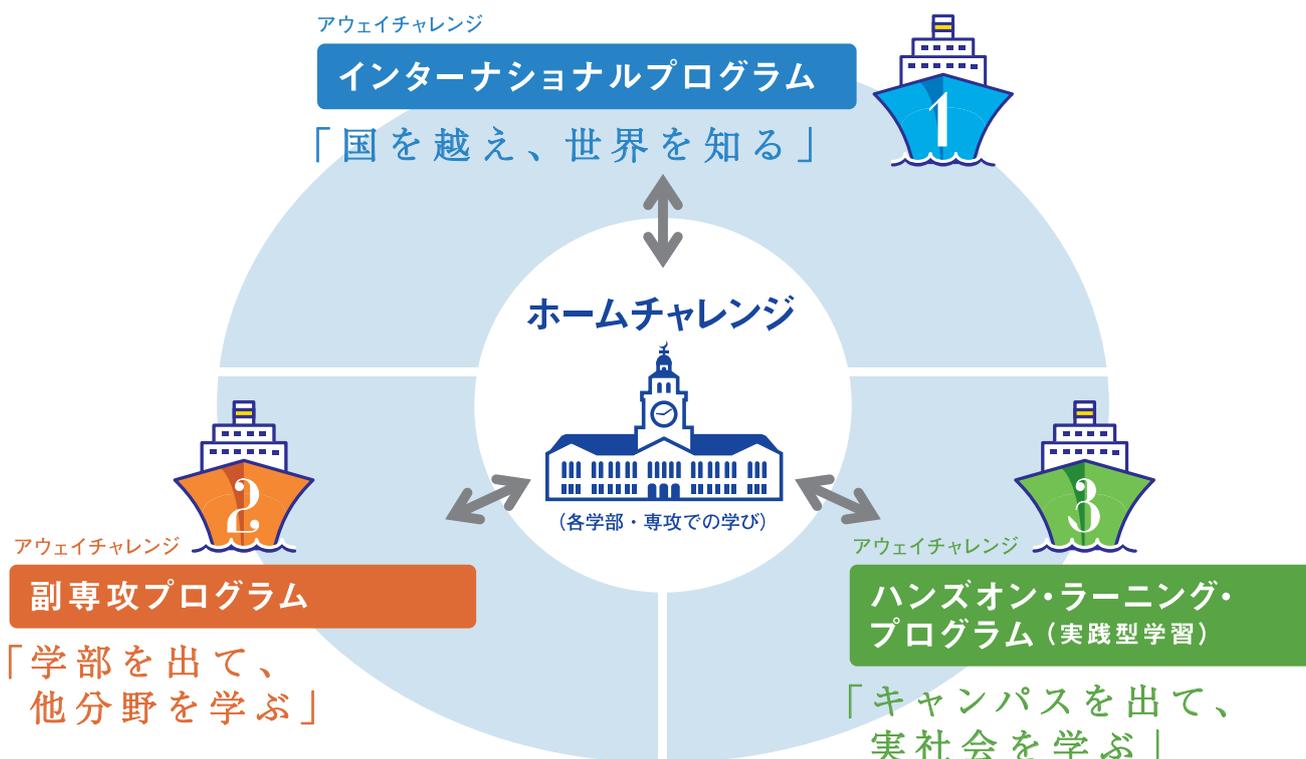
挑め、新たな世界に!

「ダブルチャレンジ制度」は、国を越えて世界を知る「インターナショナルプログラム」、所属学部以外の他分野を学ぶ「副専攻プログラム」、実社会を学ぶ「ハンズオン・ラーニング・プログラム」の3つで構成されています。これらの学びは、今後ますます激化すると予測されるグローバルな競争社会を生き抜くために欠かせない「主体性」「タフネス」「多様性への理解」「チャレンジ精神」などを育むものです。この「ダブルチャレンジ制度」をはじめとする本学の多様な学びを通して、学生のみなさん一人ひとりが自らの可能性を切り拓くとともに、本学のモットーである“Mastery for Service(奉仕のための練達)”を体現する「世界市民」として活躍するための力を養って欲しいと願っています。



学長 村田 治

学びを深める「ダブルチャレンジ制度」



「ダブルチャレンジ制度」の申請をしよう

2018年度入学生より、各学期の履修登録に併せて、今後の大学生活で挑戦しようと考えているプログラムや科目を申請する必要があります(申請が行われないと履修登録ができません)。詳しくは、各学部の『履修心得』を参照してください。

お問い合わせ

インターナショナルプログラム	国際教育・協力センター(CIEC) ・西宮上ヶ原キャンパス(G号館1階) ・神戸三田キャンパス(アカデミックコモンズ2階)
副専攻プログラム	教務機構事務部 西宮上ヶ原キャンパス(G号館1階)
ハンズオン・ラーニング・プログラム	ハンズオン・ラーニングセンター 西宮上ヶ原キャンパス(大学院1号館1階)

「ダブルチャレンジ制度」の
詳細をホームページで
チェック!

https://gap.kwansei.ac.jp/gap_009718.html

